

# ほのか診察室

HONOKA Consultation room

シリーズ

第94話

デング熱  
ひと刺し用心  
蚊に用心



市民病院  
感染対策委員会  
監修



活動するのは5月中旬から10月下旬ごろで、その期間に日本でデング熱が発生する可能性があります。

## ●国内で69年ぶり流行

昨年8月末から東京を中心にデング熱国内感染症例が確認され、162人が発症しました。

## ●デング熱の症状

デング熱の潜伏期間は、2〜15日です。発症すると38度以上の高熱や頭痛、全身の筋肉痛や関節痛などインフルエンザのような症状が出現します。体に赤い小さな発疹が出ることもあります。通常は、発熱などの症状が出てから1週間程度で回復します。まれに歯茎からの出血や血便・血尿などの出血症状が出現し、循環不全・ショック状態におちいる重症デングウイルス感染症になり、生命を脅かすこともあります。

## ●デング熱の治療

現時点では、デング熱に特異的な治療法はなく、個々の症状に対する治療を実施する対症療法しかありません。症状の程度にもよりますが、軽症の場合には経口か点滴による補液、解熱鎮痛剤投与などを行います。

## ●デング熱の予防

このような症状がある場合は、医療機関を受診し、相談してください。

ワクチンの開発は急ピッチで進んでいますが、私たちが使用できるまでには、まだ時間がかかりそうです。そのため、蚊に刺されないようにすることが唯一の予防法になります。蚊が活発に活動する日中に屋外で活動する場合には肌の露出を控えることや濃い色の服装を避けること、虫除けスプレーなどが効果的です。

ヒトスジシマカは、空き缶や植木鉢の皿などに溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを減らすことで、今シーズンや翌年に発生する蚊の数を減らすことができます。

## ●今年も過去最多ペース

平成27年5月10日時点で海外で感染して日本で発症した患者報告数は80人に上り、平成11年の調査開始以降、過去最多ペースとなっています。今後、国内感染が発生する危険が高まる懸念されています。

## ●デング熱とは

ヤブカ属のネッタイシマカやヒトスジシマカによって媒介されるデングウイルス感染症です。ヒトスジシマカは日本の広範な地域に生息しています。デング熱に感染した人の血を吸ったヒトスジシマカの体内でウイルスが増え、その蚊がまたほかの人の血を吸うことで、感染を広げていきます。

## ●世界中で感染者数増加

デング熱は世界的に感染者数が増加しており、100カ国以上の国で発生しています。世界保健機関(W

## ●ヒトスジシマカとは

ヒトスジシマカは体長4〜5ミリ程度、背中一本の白い線とW状の横線があります。

